

『緊急時の応急手当と事故防止』(96 ページ)

第1部 事故の現状と応急手当の必要性

- 1: 事故と急病の現状
 - 1) 主な死亡原因
 - 2) 年齢別に見た死因と順位
 - 3) 不慮の事故と交通事故
 - 4) 月別溺死者数
 - 5) 家庭内における不慮の事故
 - 2: 応急手当とは
 - 1) 応急手当(ファーストエイド)とは
 - 2) 応急手当を学ぶ目的
 - 3) 応急手当の必要性
 - 3: 医師や救急車への連絡
 - 1) 連携の必要性
 - 2) 119番通報と口頭指導
 - 3) 緊急連絡用カード
 - 4) ホームドクターを決めましょう
- 手当てのステップ

第2部 事故防止と応急手当の実際

Step1: 当初の観察と接触

- 1) 事故や急病の現場を調べる
- 2) 傷病者の全体的印象
- 3) 手当てのことは
- 4) 感染防止

Step2: 生の徴候を調べる

- 1) 反応を確認する
- 2) 呼吸を確認する
- 3) 出血を確認する

Step3: 気道確保と心肺蘇生

- 1) 反応なし
 1. 気道確保
チンリフト/頭部後屈あご先挙上法
ジョースラスト/下顎挙上法
 2. リカバリーポジション/回復体位
- 2) 心停止
CPR/心肺蘇生
成人と小児へのCPR
乳児へのCPR
AED/自動体外式除細動器の使用
- 3) 窒息
成人と小児の気道内異物除去
乳児の気道内異物除去

Step4: 止血とショック管理

- 1) 出血
直接圧迫止血
止血点の圧迫
直接圧迫と止血点圧迫の併用
止血帯について
- 2) ショック管理
毛布を使った保温方法

Step5: けがの調査と手当て

- 1) 迅速な全身観察
- 2) 全身のけがの調査
- 3) 各部のけがと応急手当
 1. 頭部のけが
 2. 首、脊柱のけが
 3. 胸部のけが
 4. 腹部のけが
 5. 四肢の損傷
 6. きずと包帯
 7. 熱傷(やけど)
 8. 生物によるけが

Step6: 急病の調査と手当て

- 1) 病気を調べる
- 2) 急病の応急手当
 1. 心臓の疾患
 2. 脳卒中
 3. 熱中症
 4. 体温低下と凍傷
 5. 糖尿病
 6. てんかん
 7. アナフィラキシー
 8. 過換気症候群
 9. 中毒

第3部 災害時の注意

- 1) 地震
- 2) 雷
- 3) 火災

参考資料: 一次救命処置の年齢別比較表
巻末付録: 緊急連絡用カード(記入練習用)